

包摂的なまちづくり・ひとづくりシンポジウム  
「包摂的地域コミュニティと地域経済」

# “ブリコラージュ”な PDCAサイクルへの挑戦

2026年3月24日

株式会社NTTデータ経営研究所

株式会社NTTデータ経営研究所  
マネージングディレクター

## 河本 敏夫（かわもと としお）

総務省を経て、NTTデータ経営研究所に参画。

### デジタル時代に即した社会・産業の“Re-Design”の専門家

デジタル×社会システムデザインを軸に、**デジタル社会形成とビジネスエコシステム構築**に取り組んでまいります。

著書に『マイナンバー 社会保障・税番号制度－課題と展望』、『ソーシャルメディア時代の企業戦略と実践』など。



**Social Innovation Alliance Japan Denmark (SIA) 共同代表**

# コミュニティ再生は、“ブリコラージュ”な営み



## ブリコラージュ (Bricolage) とは、

フランス語の「器用仕事」「修繕」を意味し、ありあわせの道具や材料を組み合わせ、その場に  
応じた新しい価値を創造する手法。計画的・構造的なアプローチとは対照的。

### 近代的な都市計画 =エンジニアリング

#### アプローチ

理想の完成図・コンセプトに沿って、  
計画どおりに効率よく進める

#### 主役

行政、デベロッパー、専門家

#### 価値観

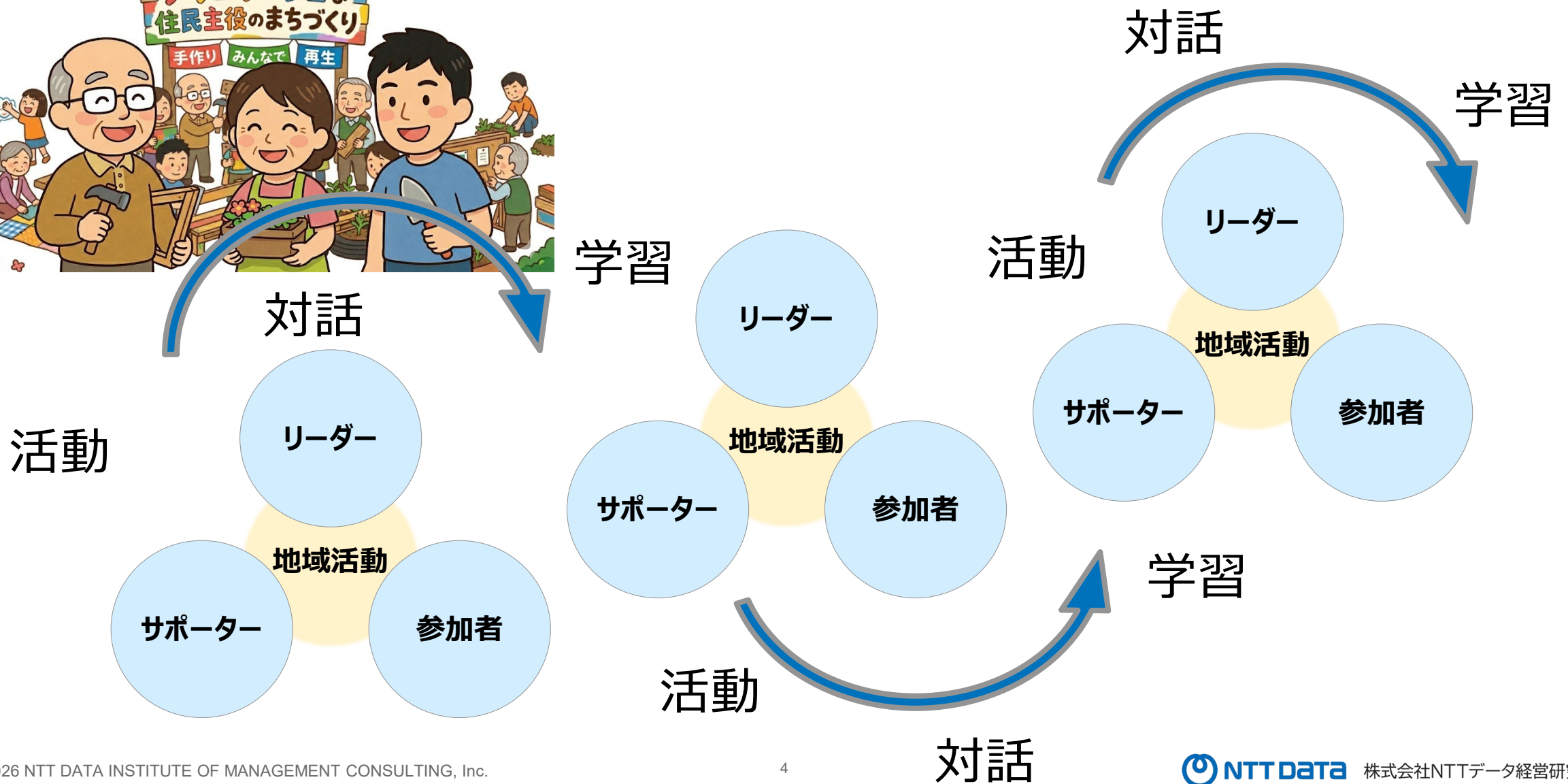
新築、均質、効率的

### コミュニティ再生 =ブリコラージュ

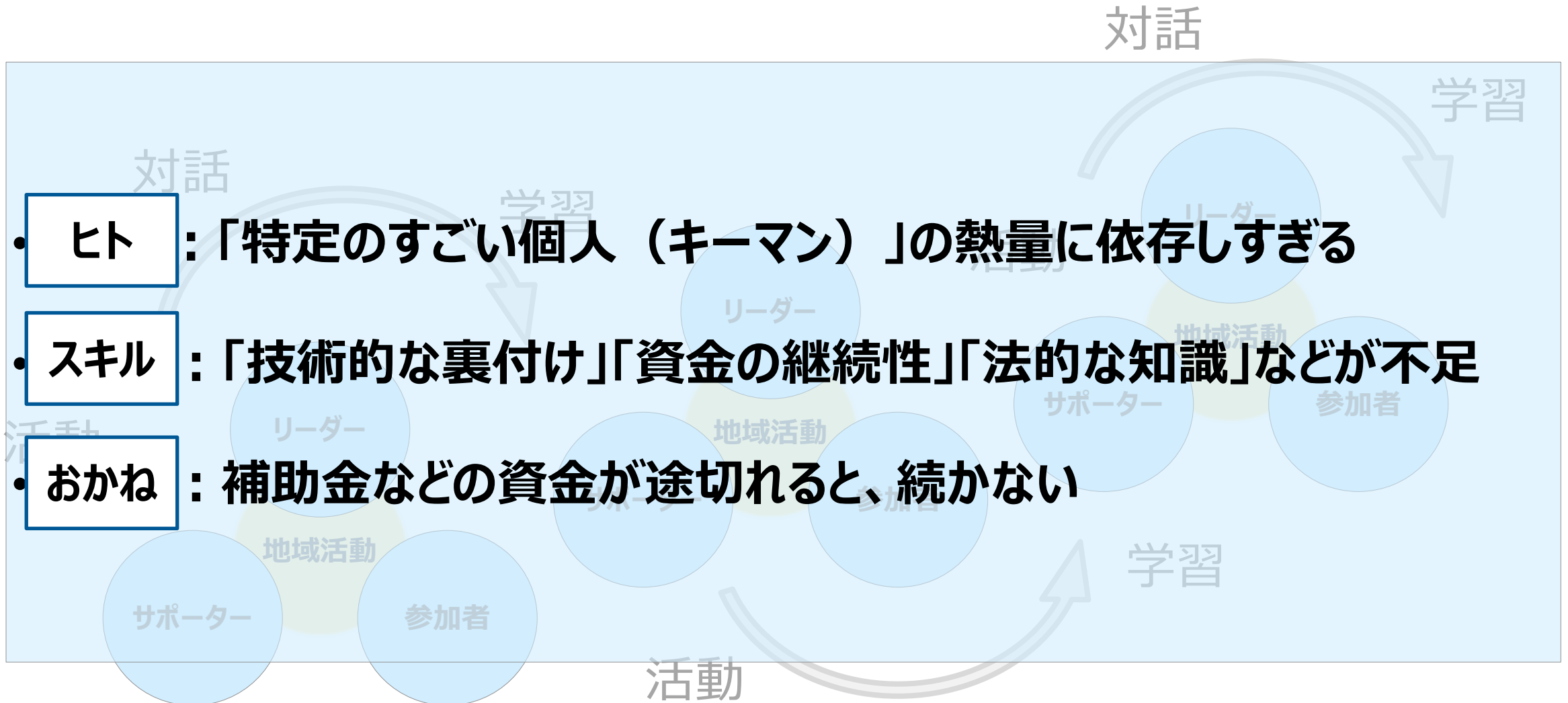
手元にある資源（空き家・人・歴  
史）を活用して、やりながら修正する、  
即興的に工夫する

住民、地元の実践者、関係する企業  
再生、固有、多機能

# ブリコラージュな「まちづくり」の主役は、住民



# しかし・・・ブリーコラージュは大変・・・



# 包摂A1のチャレンジ ⇒持続可能なコミュニティ再生のために

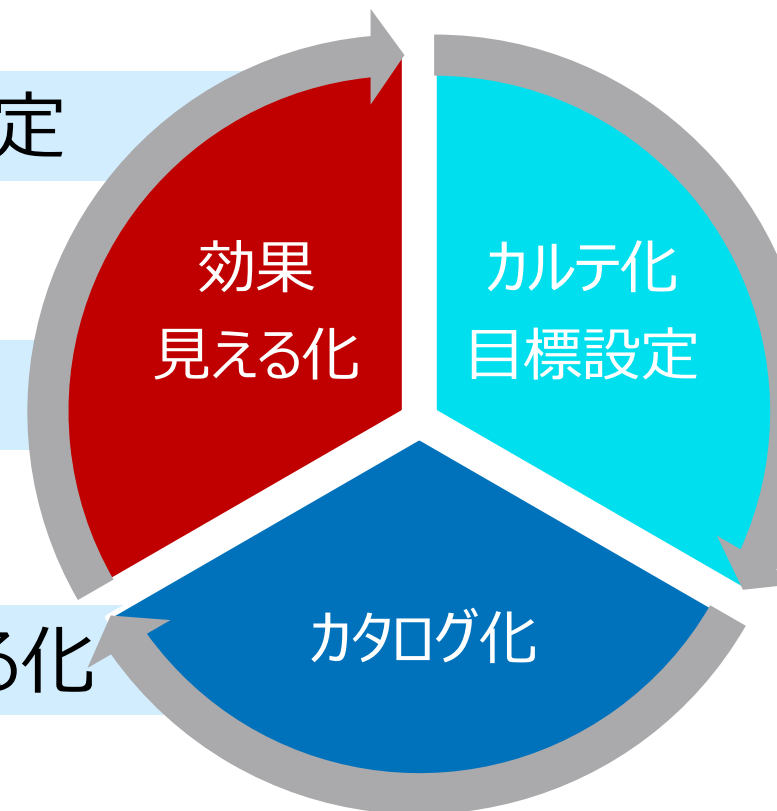
× “ゆるやか”なPDCAサイクル

住民主役の  
ブリコラージュな  
コミュニティ再生

1. 「地域の状態」のカルテ化・目標設定

2. 「打ち手の選択肢」のカタログ化

3. 「小さな手応え（効果）」の見える化



# “ゆるやか”なPDCAとは？

## ブリコラージュ（Bricolage）に適した、 発見・学習・愛着のためのPDCAサイクル

### 一般的なPDCA

目的	効率化・ミスの撲滅
目標設定	必達の数値（ノルマ）
失敗の扱い	責任追及と再発防止
推進役	管理者・経営者
評価の指標	売上、コスト削減率など・・・

### ゆるやかなPDCA

発見・学習・愛着の醸成
目安となる指標（ <b>羅針盤</b> ）
<b>次の工夫</b> への「貴重なデータ」
<b>住民・現場</b> のプレイヤー
<b>笑顔の数、新しい顔ぶれ、会話量</b> など・・・

# 包摂A1の「CBIツール」の意義

※CBI = Community Business Intelligence

データの活用によって、  
ブリコラージュの「プロセス」を  
誰でも参加可能な「型」に落とし込む。

⇒ 担い手不足の地域における現実的な解になる。

# コミュニティ再生における、民間企業の役割

**企業**が持つ「資源」と **地域**の「資産」を掛け合わせることで、**持続可能なモデル**が生まれています。

良品計画（無印良品）

千葉県鴨川市「里山トラスト」



相鉄グループ

横浜市「南万騎が原（みなまき）」



• ただし、企業連携に関しても、「型」がない・・・

# 包摂A1のチャレンジ（その2） ⇒ 企業が地域と連携するために

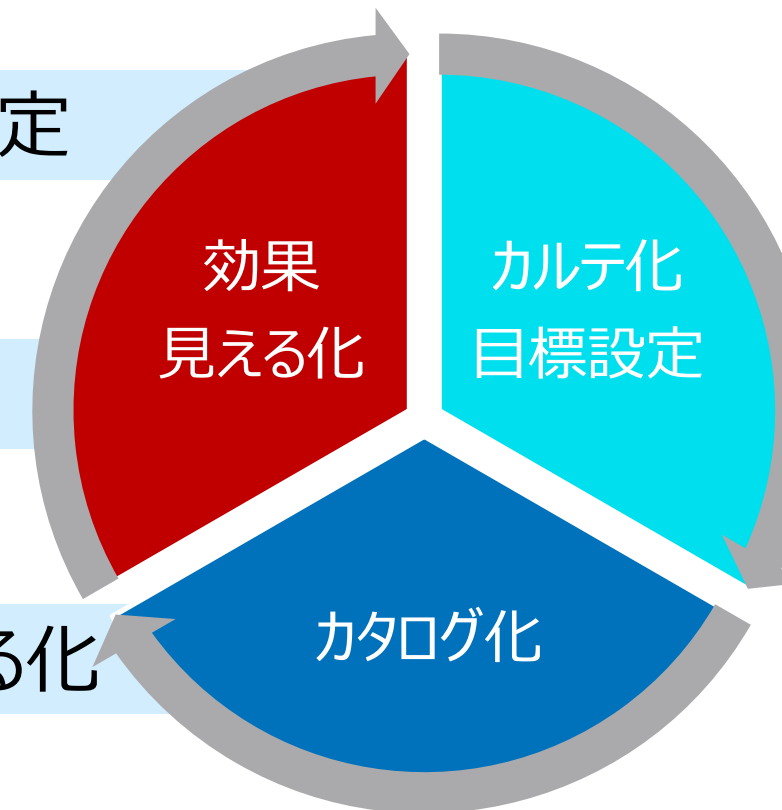
企業連携による  
ブリコラージュな  
コミュニティ再生

× “ゆるやか”なPDCAサイクル

1. 「地域の状態」のカルテ化・目標設定

2. 「打ち手の選択肢」のカタログ化

3. 「小さな手応え（効果）」の見える化



# 包摂A1における企業連携の取組

調整中

アミタ

プラスチック資源循環×  
住民同士の交流促進

神戸市・長田区

AMITA

調整中

静岡銀行

観光産業活性化

西伊豆町



調整中

コープこうべ

ラストワンマイル宅配×  
住民交流

阪急北住宅団地



(出所) アミタ、西伊豆町、コープ

# アマタ×神戸市 | プラスチック資源循環の取組

2021年、神戸市からプラスチック資源の地域拠点回収モデル事業運営の支援業務を受託して以降、地域拠点における資源回収ステーションを運営（現：エコバ）。

2024年、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題『サーキュラーエコノミーシステムの構築』の研究開発テーマである「自治体協力回収プラスチックの分別・供給システムの確立」の取り組みとして、自動車部品へのリサイクルを目指したプラスチック資源の回収を開始

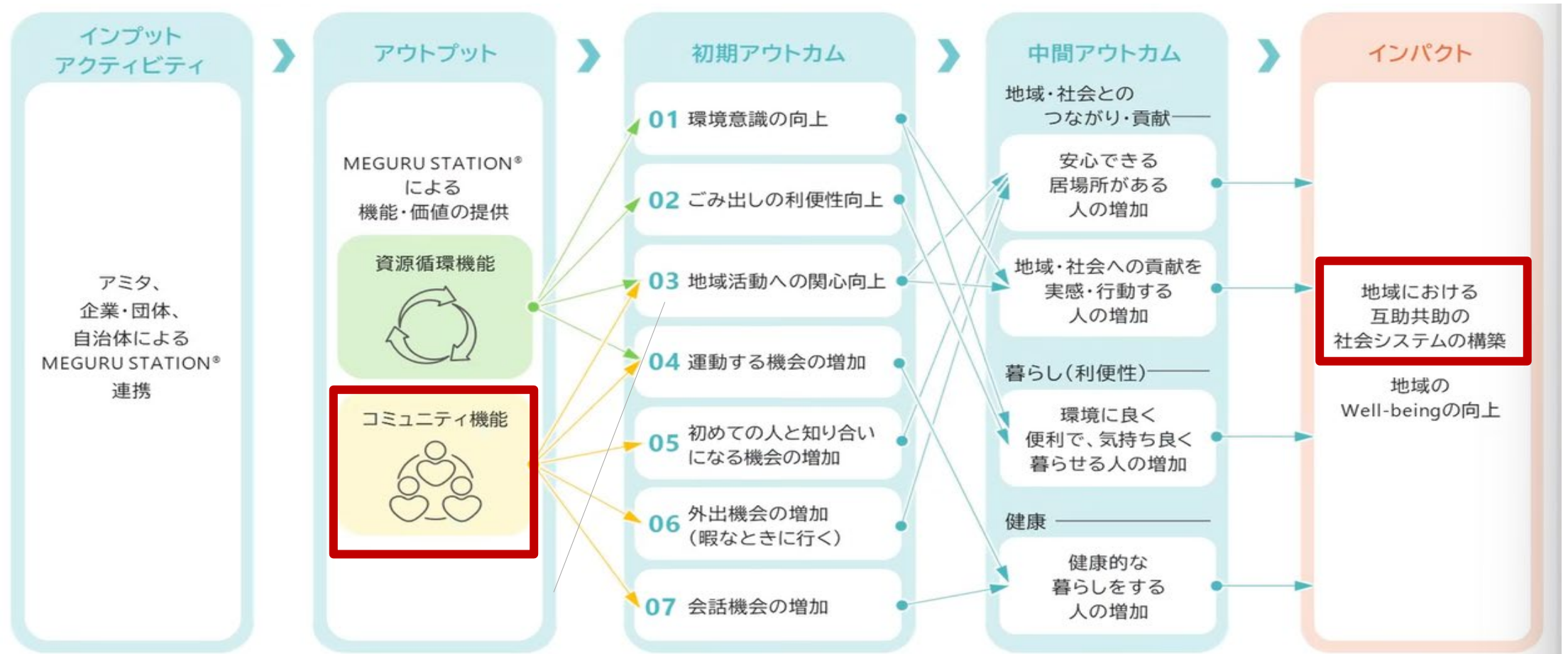


（出所）アマタ「MEGURU STYLE」事例紹介ページ

# アミタ×神戸市 | 目指すゴール

調整中

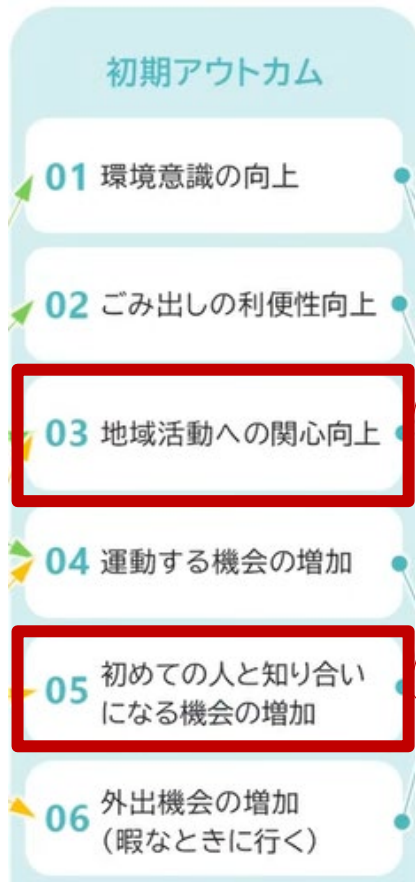
## 資源循環だけでなく、地域の人同士のコミュニティ活性化 (=ブリコラージュな活動) による地域再生を目指している



(出所) アミタ「MEGURU STATION® インパクトレポート2024」を基に、一部加筆

# アミタ×神戸市 | ゆるやかなPDCAの導入（イメージ）

## 1. 「地域の状態」のカルテ化・目標設定

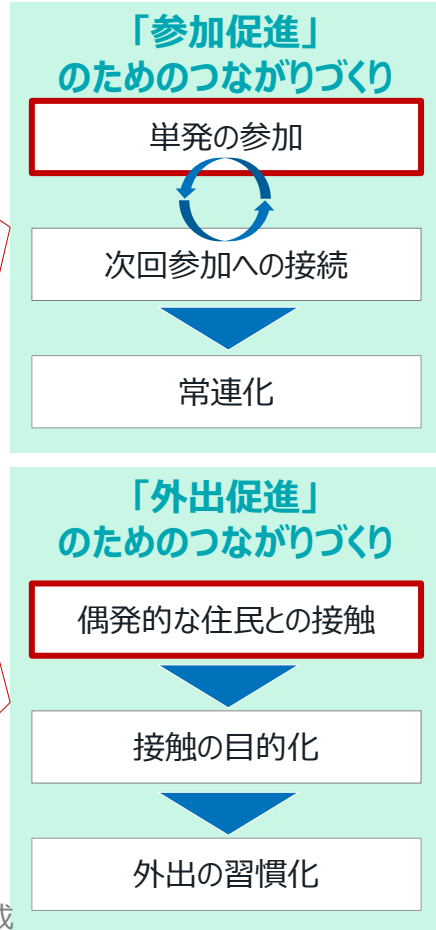


参加してみたいくなる

来たことがない人の目を引く

偶発的な交流を生む

## 2. 「打ち手の選択肢」のカタログ化



## 3. 「小さな手応え（効果）」の見える化

- 調整中
- 農業サロン**  
皮むき・袋詰め体験等＋座談会等
  - 段ボールハウス大作戦**  
リサイクル段ボールを使った子供向け工作イベント
  - マルシェイベント**  
カフェ等で手作りのお菓子などを提供
  - 有志茶話会**  
特定の趣味などをテーマにお茶を飲みながら交流するイベント
  - スマホ勉強会**  
若者が高齢者にスマホの使い方を教える
  - エコ・ウォークラリー**  
ウォークラリー形式でまちを散策し、道中のSDGsクイズに回答する
  - ごいっしょテーブル**  
カフェを開放し、スタッフが来訪者に相席を勧める

（計測指標例）

- ・プログラム受講者のうち、地域活動に関心を持つようになった人数
- ・新規来場者数
- ・新規来場者が、新たに顔見知りになった人数
- ・相席した人のうち、相席者どうして会話が生じた件数

調整中

✓資源回収拠点でID付きポイントカードをタッチ。アンケートへの回答でデータ収集

## おわりに

一般的なPDCAは「正解があるもの」を安く早く作るためのもの。

**ゆるやかなPDCA**は

「**正解をみんなで作っていくこと**」を**楽しく続ける**ためのもの。

いま、多くの企業が、正解のない課題に取り組もうとしている。

企業の参画を広げていくには、

**社会的価値の定量化と**

**ゆるやかな指標（例：幸福度、関係人口の熱量など）**による測定  
が今後のカギかもしれない。



Lighting the way  
to a brighter society